

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍のため外出頻度が減っており、運動をする機会が限定されているため体力、下肢筋力などADLの低下する可能性がある。	運動や外気に触れる機会を増やす。	施設周辺の散歩など外気に触れ、運動する機会を増やすための取組みを行う。 コロナでの制限状況を考慮しながら、可能な範囲で外出レクなどの計画を始める。	12ヶ月
2	40	施設備品の食器を使用しているため、食事の時間に馴染みの生活を送る事ができていない。	馴染みの食器を使用して食事ができるようにする。	陶器の食器使用については、破損の問題などもある為、どのように実施していくかをGHサービスマン会議で検討し実施する。	12ヶ月
3	1	理念を入居者家族・地域住民に周知しきれていない	理念の周知度を上げる取組みを行う。	広報委員に広報誌への掲載を提案する。 家族への周知方法(施設内掲示の場所や毎月の手紙に載せるなど)を検討、実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。